

# えぽっくだより

2025年10月 No.4

社会福祉法人

えぽっく

広報委員会 発行

## えぽっく夏祭り



## ～えぽフェスタ 2025～



HP



Facebook

7月12日(土)に、「えぽっく夏祭り～えぽフェスタ 2025～」を開催しました。天候にも恵まれ、多くの地域の方々のご協力のもと、盛大に開催することができました！！ご協力いただきました皆様には感謝申し上げます。

屋外ステージでは色々なパフォーマンスが披露され、射的や縁日コーナーも行列ができ大盛り上がり！利用者様も大変楽しまれている様子でした！屋外ブースも大盛況でキッチンカーや焼き鳥、焼きそば、ポテトなどの飲食ブース、「社会福祉法人 空知の風」の出店もあり、早々に売り切れになるブースもありました。かわいい動物たちの出張動物園も大好評！また、えぽっくでは、ベトナム・フエの障害児保護センターの支援にも取り組んでおります。子どもたちが描いた原画の展示や作品の販売も行いました。多くの皆さまにご来場いただき、誠にありがとうございました！



実行委員会には利用者様も参加されています！司会の利用者様の開会宣言でえぽフェスタがスタートしました。

受付には食券を買い求める長蛇の列ができ、縁日コーナーもあちらこちらで笑い声が響き渡っていました！

屋外ステージでは、さんでーろけんろーのカッコいい演奏、ピエロのグッチのバルーンパフォーマンス、広葉中学校吹奏楽部の迫力ある演奏、ハッピージャンプのかわいいダンス&リズムなわとびなど、目白押しのステージでした！！



飲食ブースでは社会福祉法人空知の風のおいしいスイーツやパン、鳥神飯というおにぎりや、むうちんの大きな焼き鳥、ケバブのたっちゃんのキッチンカー、ザ・お祭りメニューのえぽっくキッチンと多彩なラインナップでお祭りを盛り上げていただきました！



ハイジ牧場の出張動物園では、かわいい羊やウサギがお出迎え！

ベトナム・フエの障害児保護センターのコーナーでは、子どもたちが描いた原画の展示や作品販売のコーナーにたくさんの方が見入っていました。



# ホホエム

ホホエムでは「意思決定支援」と「日中活動の充実」に重点をおき取り組んでいます。各活動に担当を設け意思決定支援のもと一貫性のある活動を進め、新しい作品の商品化や作物の収穫などの成果が見られました。支援員も積極的に アイディアを出し利用者様と一緒に進めています。完成した作品は商品として喫茶店の「れざみ」でも販売していますので、手に取っていただくと嬉しいです！そして、喫茶れざみでお手頃なランチを是非ご賞味ください！「一緒に！楽しく！」ホホエムは毎日活動しています！！

ホホエム サービス管理責任者 加賀谷 佳奈枝



創作活動では、季節に合わせた掲示物の作成をしています。春は桜、夏はひまわり壁画の作成し、秋は紙すきの紙を活用し、ブドウを作りました。夏のひまわりの壁画は「えぼフェスタ 2025」の看板となり、来場者の方々に披露することが出来ました。また季節の行事イベントも今年は積極的に企画し、前期は七夕や盆踊り大会なども開催することが出来ました。野外活動としては日中の散歩や農耕作業を行っています。毎日の水やりや、散歩が日課となっていました。また「えぼスポプロジェクト」として体育館での活動も継続しています。

## 日中活動

1つの活動に1人の担当支援員を配置することを目標として前期活動を行ってきました。その結果、日中活動の充実を図り、継続して色々な活動に利用者様が参加していただけています。また、今年度から開始している、レジンやペットボトルキャップを使用したキーホルダー作り、刺し子ふきん等の商品を完成させることができました。



喫茶れざみでは、

季節に合わせた室内の装飾作りを行っております。9~10月はハロウィンの装飾をしました。カボチャの置物を各テーブルに置いたり、ステッカーを窓に貼るなど、利用者様のセンスにおまかせし、かわいらしい空間になりました。

# 地域生活支援センター と も と と



## 意思決定支援

お食事を選ぶ、出かけたい場所を選ぶなど、ご本人の身近な事に関わる支援は引き続き実施しております。7月はきらっと1号館の皆様と外食へ。「びっくりドンキー」でお食事を楽しまれ、タブレットでの注文もお手の物でした。8月はソレイユの皆様と、夜のドライブを兼ねて長沼の「あいちゅらんど」へ。暑い夜に食べるアイスは最高でした。また、今年は利用者様から色々のご提案を頂くことが多く、9月にはそれを受けて「おたる水族館」と「円山動物園」の2つの日帰り旅行が実現いたしました。どちらの旅行も天候に恵まれ、楽しんで参加していただくことが出来ました。後期はこれらのことも続けながら、利用者様個々の生活状況に合わせた意思決定支援に力を入れていきます。



## 虐待防止・身体拘束に 関わる取り組み

9月の職員会議では、虐待防止研修を開催。こういったことが不適切支援に該当するのか、グループワークを通して職員同士で話し合いました。普段の支援に関わる振り返りをする中で、支援における困りごとや悩み、見直すべき課題など、改めて色々な意見を交わす良い機会にもなったと感じます。今後もこういった話し合いの場を定期的に作ることで、虐待防止と支援の見直しを続けていきます。



## 非常災害に関する取り組み

各ホームでは、地震と火災を想定した避難訓練を年に2回行っています。今年は初の試みとして、ともっと・ホホエムの合同避難訓練を実施しました。次の避難訓練では、どのような状況を想定した訓練を行うのが良いのか考え、非常時への備えを怠らず、利用者様に安心して過ごしていただくため、日頃から意識するよう職員で話し合いをしています。



## 江差・洞爺・登別旅行

9月12日に江差・洞爺・登別へ旅行に行きました。旅行の中では、かつてともっとで過ごされていた本田様のお墓参りのため、江差町のお寺「正覚院」を訪れました。正覚院様には今年も心より感謝申し上げます。お墓にお花を供え、利用者様お一人おひとりが静かに手を合わせてお参りをされました。本田様に今年もお会いすることができ、皆で穏やかな時間を過ごすことができました。



# ハニカム・あっと



「えぼスポプロジェクト」を立ち上げ、「意思決定支援を尊重したスポーツ活動」を実施してきました。7～9月の期間は気温が高いため、活動は体育館ではなくハニカム内で実施しました。ハニカム内では、ポッチャや玉入れを行い、身体を動かしながら楽しく取り組んでいます。体力づくりや仲間との交流が進み、利用者さんの笑顔も多く見られています。

また、職員研修として「虐待防止研修」を行い、支援の質の向上と職員の意識統一に努めました。利用者様一人ひとりの尊厳を守る支援を継続するため、定期的に研修を行い、安心・安全な環境づくりを進めてまいります。

ハニカム 管理者 加藤 真姫

## 【日中活動】

- ◇牛乳パック再利用：紙すき体験  
牛乳パックを使ったリサイクル活動を継続しています。完成した紙は色紙やカレンダー等として活用し、環境にやさしい取り組みとなっています。
- ◇貼り絵制作  
貼り絵ではありませんが、模造紙に絵を描いています。一人ひとりの個性が光る、温かみのある作品が出来上がります。
- ◇水苔作業  
水苔を小分けにする作業を継続しています。根気のいる作業ですが、一人ひとり集中して取り組む姿が見られています。
- ◇町内散歩  
散歩やゴミ拾いも継続しています。作業の合間の心身のリフレッシュに役立っています。
- ◇ダンス  
ダンス活動については利用者様の体調不良により一時中断している状況です。無理のない範囲で、再開の時期を見ながら調整してまいります。



共同生活援助「あっと」では、利用者様のご希望や生活リズムに合わせ、日常的なケアに加えて、外出や行事等も行っています。

### 【7月の活動】

・南幌商工会ふれあい祭り、えぼフェスタ準備に参加し、雰囲気を楽しんでいただきました。

### 【8月の活動】

・お誕生日会を開き、ケーキやお食事でお祝いし、笑顔あふれる時間を過ごされました。

### 【9月の活動】

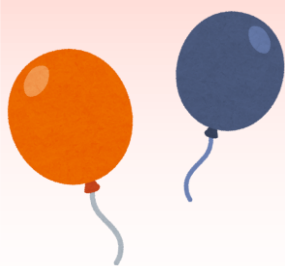
・旭山動物園に出かけて動物を見ながら、散歩をして楽しまれていました。

# 八丁平共生型センターはっち

## ろぐらん・らんらん

今年度は生活介護事業所「ろぐらん」では日中活動の充実を目標に取り組んでおります。活動の担当を決め、月間スケジュールを作成し、計画的に活動を進められるようにしています。

日中活動の種類も増やしており、利用者様に好評なのは「風船飛ばし」です。これは、複数の風船を浅い箱の中に入れ、そこにボールを投げ入れて、いくつの風船が箱の外へ飛び出したかを競うゲームです。ボールは投げ入れなくても、上からそっと落とすだけで風船が箱から飛び出すので、誰でも無理なく楽しめるゲームとなっております。はっちは車いすの利用者様が多いのですが、このゲームはみんなそろって楽しむことができ、同じ喜びを共有できる良い活動になっています。



他にもちぎり絵や、ストレッチ、パズルなど、いろいろな日中活動を取り入れています！

## 七夕イベント

7月7日には「七夕のイベント」を開催しました。近隣の八丁平小学校の児童さんから小さなお子さんまで、総勢57名の子どもたちが遊びに来てくれました。

はっちの駐車場で、「次はどこに行く？」と相談するほほえましい姿も見られました。今年は晴天に恵まれ、多くの子どもたちが町内をめぐって、お菓子をもらっておりました。はっちの壁にポスターを掲示してイベントの周知を行い、当日はお菓子の中にもチラシを同封したため、子どもたちの間でも七夕のイベントが広まったようで、後半からは多くの子どもたちが来てくれました。



# 相談室ますとびいー

相談室ますとびいーは、札幌市から委託を受けて、札幌市障がい者相談支援事業として障がいのある方やご家族、地域の方たちの様々な困りごとをお聞きし、解決方法を一緒に探す支援を行っています。相談は札幌市厚別区にお住まいの方を中心に行っており、現在、約490名の方が登録され、ご利用いただいています。

ますとびいーでは、職員向けの内部研修会を年間で計画し、スキルアップに努めています。今年度は、4月に防災に関する研修を実施しました。大きな地震が起き停電している想定で、出勤してからの動き方を確認したり、防災用具の場所の確認などを行っています。防災用具は、リストの名前だけで実物を見たことがないものもあったため、実際に確認することができました。次回は、避難訓練を実施する予定です。併せて、感染症に対する研修も実施し、コロナの教訓をもとに感染症がまん延した想定で、出勤者が限られる場合の職員の動き方などを職員で共有しました。

7月には、個人情報の取扱いに関する研修会を実施しました。相談室では相談者の方の個人情報を扱う場面も多く、職員の基本的な知識の向上は常に図っていかねばなりません。企業などのヒヤリハットや事件事例などを共有し学びを深めました。今後も個人情報の取扱いに留意しながら相談者の方が安心して相談できるように努めていきたいと思ひます。

8月には、虐待防止・意思決定支援の内容で研修を実施しました。発語が困難な相談者の方、言語による意思表示が困難な相談者の方へのアセスメント方法について、グループに分かれて意見を出し合いました。意思決定支援の基本を学びながら、実践的な工夫を共有しています。今後の日々の業務に活かしていきたいと思ひます。

引き続き、同法人のぼると連携し、フードドライブ事業にも力を入れております。厚別区内の子ども食堂などに定期的な配荷を行っています。

今後も相談室ますとびいーでは、相談者の方が安心して相談できる厚別区の相談窓口として、相談員のレベルアップを図りながら活動していきたいと思ひます。

相談室ますとびいー 管理者 松島 綾子

札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号  
TEL 011-299-3856 FAX 011-894-3899  
✉mastbee@epoch.or.jp 9:00~17:30(土日祝休)



個人情報の取扱いに関する研修

# きたひろしま暮らしサポートセンター

## ぽると

生活困窮者自立支援法に基づき、北広島市から委託を受け開設しています。北広島市民への自立相談支援を行う事業所で、社会福祉士等の資格を持った相談員が対応しています。



### 居住支援業務事業所えぼっく

### フードバンクぼすこ

生活困窮者の相談対応のなかで、生活費から食費をなかなか捻出できない方が多いことがわかりスタートしたフードバンク活動。現在、北広島市・札幌市の計9か所に回収ボックスを設置し、フードドライブを行っています。今年もエスコンフィールドHOKKAIDOから飲み物やお菓子の寄付を受けました。令和7年上半年期は、子ども食堂の他、新しいお届け先として、自立援助ホームにもお届けすることが出来ました。引き続き、あたたかいご支援のほど、よろしくお願い致します。

自立援助ホームoar(オール)へお届けしてきました。



### フードドライブ開催予定

- 2025/11/1(土) えぼっく 法人本部
- 11/15(土) ぽると
- 12/6(土) えぼっく 法人本部
- 12/20(土) ぽると
- 2026/1/24(土) ぽると
- 2/7(土) えぼっく 法人本部
- 2/21(土) ぽると
- 3/7(土) えぼっく 法人本部
- 3/21(土) ぽると

### 学習支援事業

### 北広島市学習支援事業りらぼ

りらぼは、北広島市内にお住まいの中学生を対象とし、学習のサポートを希望される方に、学習の機会の提供と居場所の提供を行っています。また、保護者の方からの進路相談や生活相談を行っています。

謎解きゲームも開催しました。



毎週火曜日17:00~19:00、ぽるとが入っているビルの会議室にて開催。数学と英語を中心にサポート。支援員はボランティアの大学生の他、教員免許を持ったコーディネーターがいます。また長期休暇期間は、毎週火曜の定期開催とあわせ、自習室として20日間ほど開催し、学習以外にもイベントを開催しています。



夏休み企画で、しゃぼん玉アート教室を開催しました。

### 就労準備支援事業

### ほっぷ! すてっぷ! じゃんぷ!

就労に blanks があつたり、働いた経験がなく何から始めたら良いか不安をお持ちの方、家族以外と接する機会が欲しい方などを対象に就労に向けた支援を行っています。

### 自立相談支援事業

ぽるとでは、食料支援、学習支援、就労準備の他にも、家計状況の見直しをサポートする家計改善支援や、住居確保給付金利用の窓口として、生活での様々なお悩みや困りごとのご相談をお伺いしています。ご相談者様と解決のかたちを一緒に考え、思いに寄り添いながら、それぞれの方に合わせたお手伝いを日々させていただいています。

#### 【左上】

毎週木曜日に行っている農作業の活動でぶどうの収穫をしました。

#### 【右上】

東共栄、美咲き野地区にてポスティング活動をしました。

#### 【右下】

朝日町の龍仙寺にて坐禅体験をさせていただきました。

#### 【下】

元気フェスティバルに出店し、ご来場のみなさまにプラバン作りを楽しんでいただきました。



北広島市栄町1丁目5番地2

エルフィンビル2階

TEL 011-887-6480

FAX 011-373-6680

✉ kurashi-poruto@epoch.or.jp

# 相談室ぽぷら



相談室ぽぷらは令和6年8月1日の事業開始から丸1年が経過しました。今年の4月からは札幌市北区の委託の相談室3ヶ所で地区割制が導入され、ぽぷらは北区の北部（あいの里・拓北・篠路・茨戸・屯田・太平・百合が原）を担当しています。地区割制になってからはご相談を受付も件数が一層増加しており、相談室ぽぷらの活動も認知されつつあります。

今年度ぽぷらでは、担当地区内の町内会や民生委員の方々など地域の皆様に地区担当の相談室であることをご説明する機会をいただきながら、周知活動に取り組んでまいりました。まだまだ地域に根差していく活動は道半ばではありますが、地道に相談室ぽぷらが北区の北部地域の障がいのある方々の相談室であることを皆様へお伝えする活動を引き続き行ってまいります。

相談支援の対応としては、当初から掲げている相談者を「待つ」のではなく、出向いていくという意識で対応しています。令和7年3月31日時点で66名のご登録をいただいておりますが、現在142名（令和7年9月30日現在）のご登録をいただいております。相談の件数増加に伴って事務所内の相談員が不在ということも出てきますので、ご相談の際にはまず、ぽぷらにご連絡いただき相談の面談のご予約をいただくようお願いしているところです。

また、北区篠路にあるスーパーアークスノース店様には引き続きフードドライブのご協力をいただいております。障がいのある方々が地域で安心して生活を続けて行くことができるよう、相談員一同お互いの強みを活かしながら切磋琢磨し、また地域の方々にもお手伝いをいただきながら活動していきたいと思っております！

札幌市北区太平9条5丁目2番4号  
TEL 011-717-5520 FAX 011-717-5521  
☒popura@epoch.or.jp 9:00~17:30(土日祝休)



相談室ぽぷら 管理者 濱守 雅弘

## ポッチャを楽しもう！

えぼくくでは利用者様への新しい取り組みとして「ポッチャ」を始めました。「ポッチャ」とは、パラリンピック公式種目にも認定されているバリアフリースポーツの1つです。9月には利用者様でチームを結成し大会へ参加、10月はきらっとの皆様でポッチャレクリエーションを行いました。参加された皆様からは「楽しい！」「もっとうまくなりたい！」と大好評です。今後も定期的な活動をし、来年の大会に向けて頑張りたいと思っております。

### 「ポッチャ」とは…

赤・青の2チーム（1対1～3対3）に分かれ、白い目標球（ジャックボール）めがけて、自分のボールを6球投げます。そして、相手チームが投げたボールより目標球に近くに、できるだけたくさんのボールを投げることで得点を競います。

10月13日（月）  
スポーツの日  
きらっと  
ポッチャレク

9月7日（日）  
CITYポッチャエキシビジョン  
エスコンフィールド HOKKAIDO  
大会

